

# 「ソーシャルグリッドの提案」

2011/6/6

河野(JAG四国／オープンフォーラム)

# 考えてみる

- ソーシャルなWebサービス
- 会員登録制
- 自宅の住所を登録
  - ex, 100万人都市
  - そのうち会員が1万人
  - (1%)

# 節電

- 会員の1万人は
- 自宅の電力使用量を管理
- 節電に努める

## 2.東京電力のピンチ

- 夏
- 需要逼迫

# イザという時に

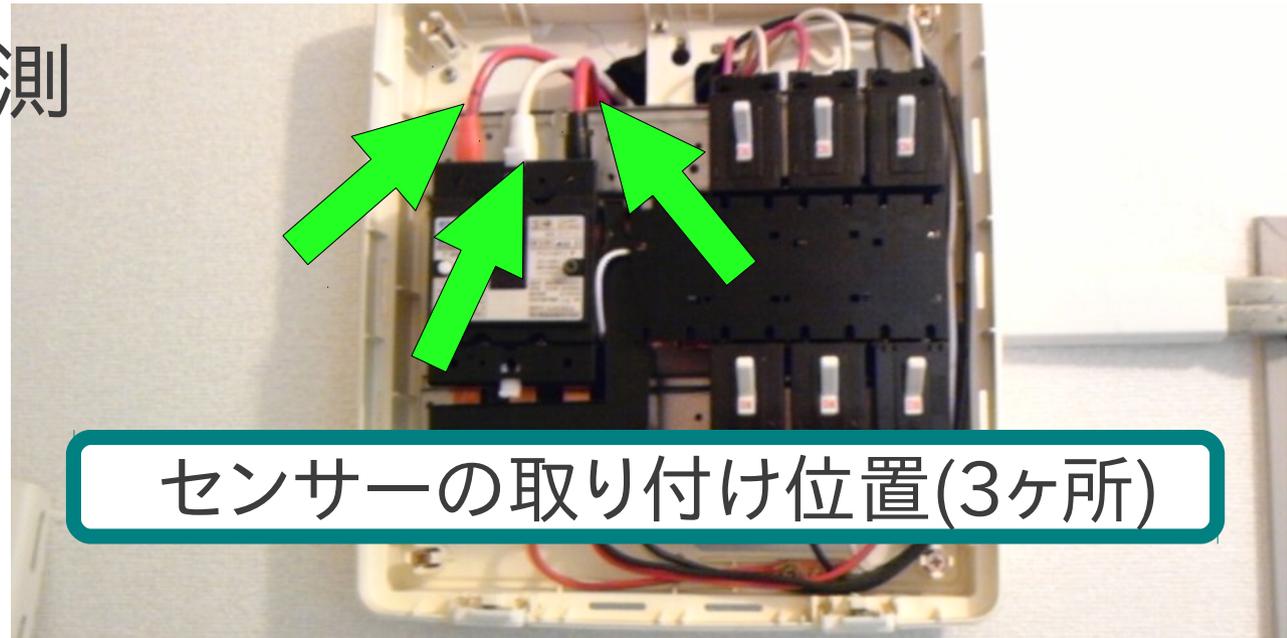
- 会員へ節電目標を示す
  - 会員は節電をがんばる
- ↓
- 集計
    - 節電総量
    - 東京電力の供給量との比率
    - 貢献度
  - 会員はニンマリ

# 3.電力計測器

- 会員の自宅に取り付け
- ブレーカボックスに設置
- 電力消費量を計測



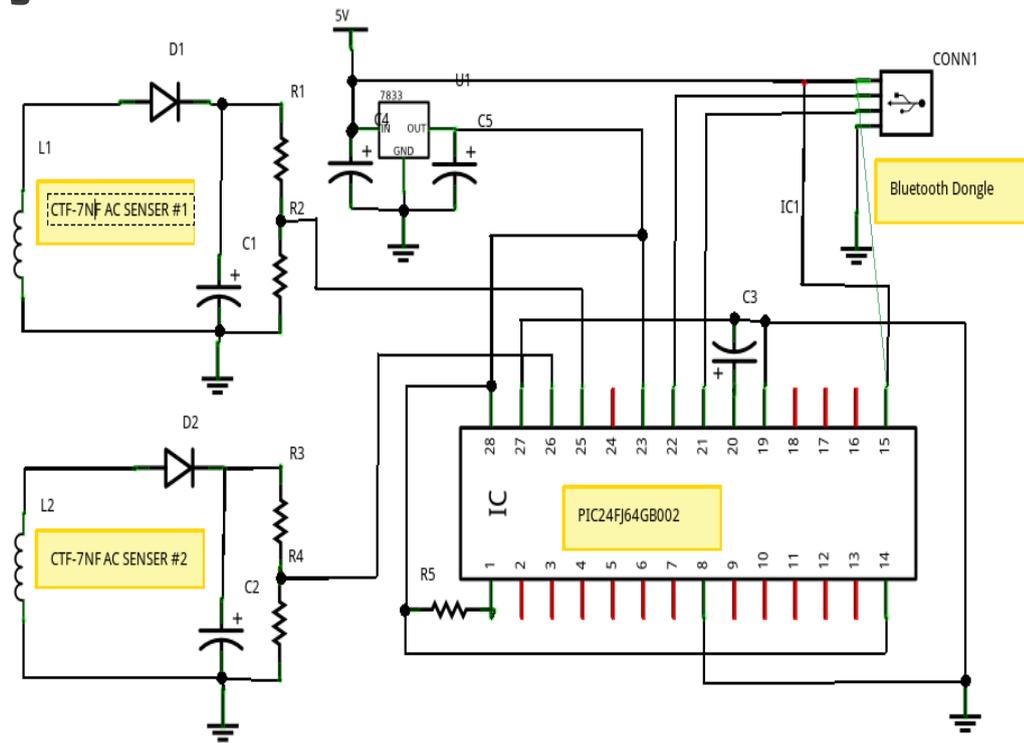
↓  
bluetooth  
↓  
Android端末  
↓  
クラウドに登録



センサー  
マルチ計測器株式会社  
CTF-7NF

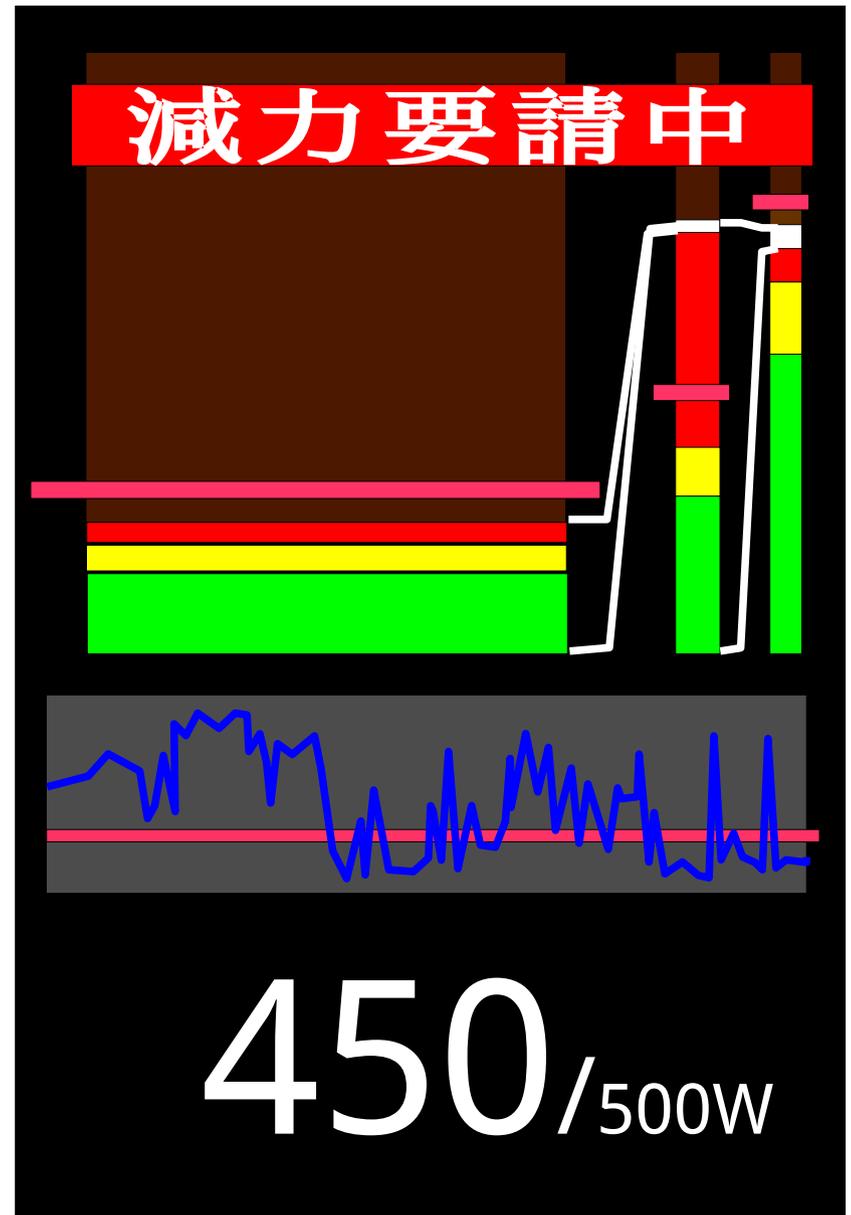
# 4.計測器

- クランプメータの原理で動作
- 原価は1万円未満
- クランプなので
  - 既存の電力計や配線には手を加えない
  - クランプの誘導電流だけで動作できる？



# 5.Android端末

- 自宅の電力消費量をリアルタイムで表示
- クラウドとも通信
  - リアルタイムで表示
  - 東電のピンチの度合い
  - 会員全体の節電パワー



# 電力のピンチは

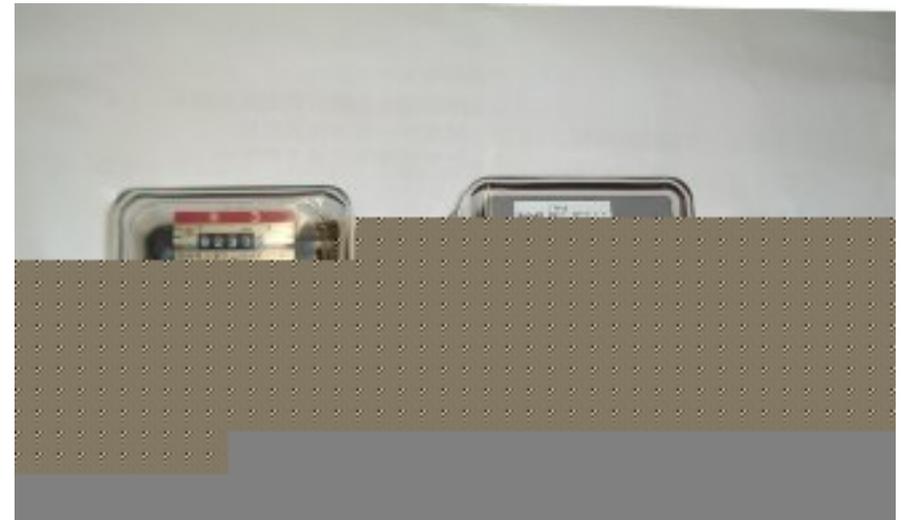
- 夏のエアコン
- 夕方の炊飯器
- 等
- 自宅にいるときの行動が鍵

# ただいま～

- Androidケータイを持って自宅に帰ってくる  
↓
- bluetooth電力計がリンク  
↓
- 戦いはじまる!!

## 6. さて、スマートグリッドは

- 電力網の効率化の切り札
- アメリカではバブル
- だけど…日本では…
  - 体質
  - 抵抗勢力
  - 高コスト
  - 遅い
  - 「見える化」が進行中だが



右側:スマートメーター  
関西電力は09年度で40万台  
入れ替えているけれども…

「記事特集【スマートグリッド】 - 日刊工業新聞 Business Line」  
<http://www.nikkan.co.jp/toku/smartglid/sg0215-16-01ps.html>

# 7.このご時世

- 電力会社も政府もあてにならない
- スマートグリッドの普及は日本では無理ゲー

# ソーシャル節電だと

- 電力会社も政府も関係なしに進める
- 需給調整が硬直化している分
- 逆に目標値がブレないのでやりやすい

# 8.人間の手でスイッチを

- スマートグリッド
  - →自動で電力の使用抑制
- ソーシャル節電
  - →それぞれの善意でグリッドを構成
  - 善意の集積が定量的に反映
  - 瞬時に表示
- ソーシャル駆動モデルというのは今風でウケる!!
  - 「みんなの元気をわけてくれ!」「ピピピ5MW…小型の水力発電所並だっ!」

## 9.数字が出れば

- 「1万人でどれだけの効果」
- 一般人へのPRもしやすい
- ヤシマ作戦などの盛り上がり
- →なかなか継続しない
- 数字
- →継続の力？

# 10.さて、これを行うためには

- bluetooth電力計が必要
    - 購入必須だが
    - 安価!
  - Webサービスが停止しても
    - 「長い間ありがとうございました」
- ↓
- でも自宅の電力消費モニターはずっと使える!
    - お得!

# いかが？

- 参加しませんか
  - ハードウェア作成
  - Androidアプリ作成
  - クラウドアプリ作成
- 参考資料
  - <http://ideaideaideaidea.blogspot.com/2010/11/blog-post.html>
  - 「独りよがりのアイデアメモ: 普通の電力量計でスマートメーターのように電力量を計測する方法」
  - 現在の後付け式スマートメーターの比較、Google Powerや見える化とかに言及しているサイト

俺たちの戦いはこれからだ!